

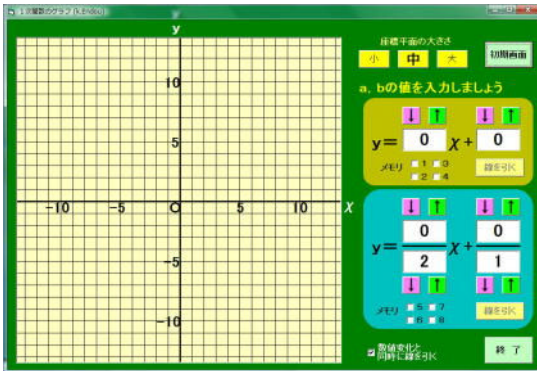


傾きや切片の値による1次関数のグラフの変化を視覚的に分らせるには

23039 1次関数のグラフ

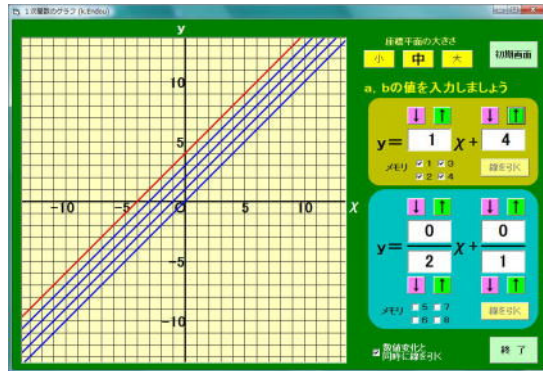
1次関数の傾きや切片を変化させると、それに伴ってグラフが変化していくソフトである。その値は整数と分数の場合に対応している。グラフをそれぞれ4本まで記憶できる。

①初期画面



- ・**↓**や**↑**をクリックすると、値が変化し、グラフが表示される。
- ・「数値変化と同時に同様に線を引く」のチェックを外すと、「線を引く」をクリックしたときに線が引かれる。

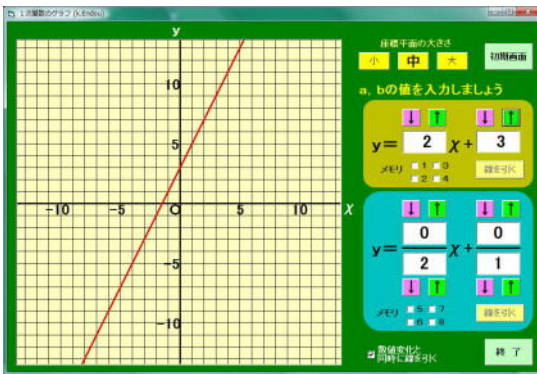
③メモリを使ったとき



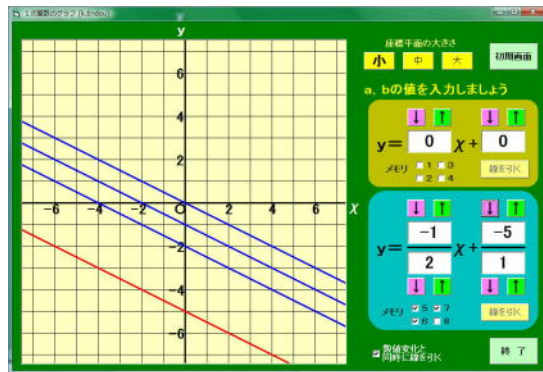
- ・メモリのチェックを入れることで、4本までグラフを記憶することができ、青色の線で表示される。

傾きや切片の値を変えることで、グラフがどのように変化するかを考えさせる。

②↓や↑をクリックしたとき



- ・傾きが変化することで、直線の傾きが変わり、切片が変化することで、直線が上下に移動する。



- ・傾きが分数の場合も表示できる。
- ・座標平面の大きさが変えられる。

ポイント

1次関数の傾きや切片の意味を、それらの値をいろいろ変化させるとどのようにグラフが変化するかを調べることで、一層明確につかませたい。